

電池について

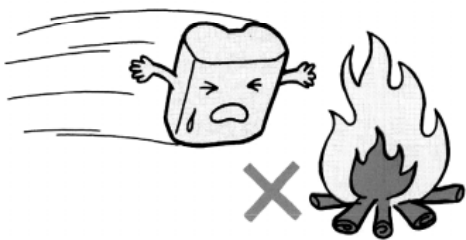
- 電池は正しく使いましょう。誤った使い方は漏液・発熱・破裂の恐れがあります。入れるときは⊕⊖を正しく入れてください。
- カメラを長期間使わないときは、カメラから電池を出しておいてください。古くなった電池は液もれを生じ故障の原因になることがあります。特にデト用電池は幼児の手の届かない所に保管してください。
- 電池を分解したり、充電したり、火の中に入れると破裂の恐れがあります。
- 単3形乾電池を交換するときは全部を一度に、同一メーカー・同一種類の電池を入れてください。新しい電池と古い電池を混ぜて使ったり、種類が違う電池を混ぜて使わないでください。

- 低温では、一時的に電池の性能が低下して容量不足になることがあります。常温に戻れば使えます。
- 旅行や野外撮影などには、予備電池を用意しておくで安心です。
- カメラバッグなどに入れるとき、シャッターボタンが押されると電池が消耗します。スイッチを○にして切っておくと安全です。
- 内蔵ストロボを連続して使うと、カメラ用電池が多少温くなる場合がありますが、これは電池の特性で異常ではありません。

撮影可能フィルム本数およびバルブ時間

使用電池		2CR5	単3アルカリ
常 温 時	一般撮影	約150本	約100本
	ストロボ撮影	50%使用 約 30本	約 20本
		100%使用 約 15本	約 10本
	バルブ露出時間〔常温時〕	約10時間	約10時間

当社試験条件による。〔24枚撮りフィルム〕



ファインダー内および表示パネルの露出警告表示

ファインダー内表示	表示パネル	内 容
P 4000	4000 F 22	プログラム自動露出での「測光範囲外」です。そのまま撮影すると、適正露出は得られません。
P LT	1" F1.4	
A 4000	F 22	シャッター優先自動露出での「測光範囲外」または「連動範囲外」です。
A LT	F1.4	「連動範囲外」は、シャッター速度を変えれば撮影できます。
A 4000	4000	「測光範囲外」は、シャッター速度を変えても点滅が消えません。そのまま撮影すると適正露出は得られません。
A LT	30"	
M 500		絞り優先自動露出での「測光範囲外」または「連動範囲外」です。
M 125		
M 250		絞り優先自動露出での「測光範囲外」または「連動範囲外」です。
M 60		
M 4000		絞り優先自動露出での「測光範囲外」または「連動範囲外」です。
M LT		
P 250		マニュアル露出での「適正露出外」です。シャッター速度や絞りを変えて、点滅が消えて速度表示がひとつになれば適正露出で撮影できます。
P 60		マニュアル露出での「測光範囲外」は、シャッター速度や絞りを変えても点滅が消えません。そのまま撮影すると適正露出は得られません。
P 250		メモリーロック使用中は、ファインダー内の早い点滅表示で知らせます。
P 60		バッテリー警告表示 カメラの電池が消耗して容量が少なくなったことを速い点滅表示で知らせます。

- 警告表示はファインダー内および表示パネルの点滅表示によって知らせます。
- 測光範囲外とは、被写体の明るさが極端に明るい暗いため、カメラの露出計が働く範囲を越えている場合です。
- 連動範囲外とは、測光範囲内でもシャッター速度と絞りの組み合わせが使用限界を越えている場合です。
- 測光／連動範囲は66ページをご覧ください。
- 左表の「」は点滅表示です。

※測光範囲外

測光範囲外になったときの撮影方法

- 被写体が明るいときは市販のNDフィルターをご利用ください。
- 被写体が暗いときは、ストロボか他の照明光が必要です。

SFXNと各種ペンタックスレンズを組み合わせたときの機能

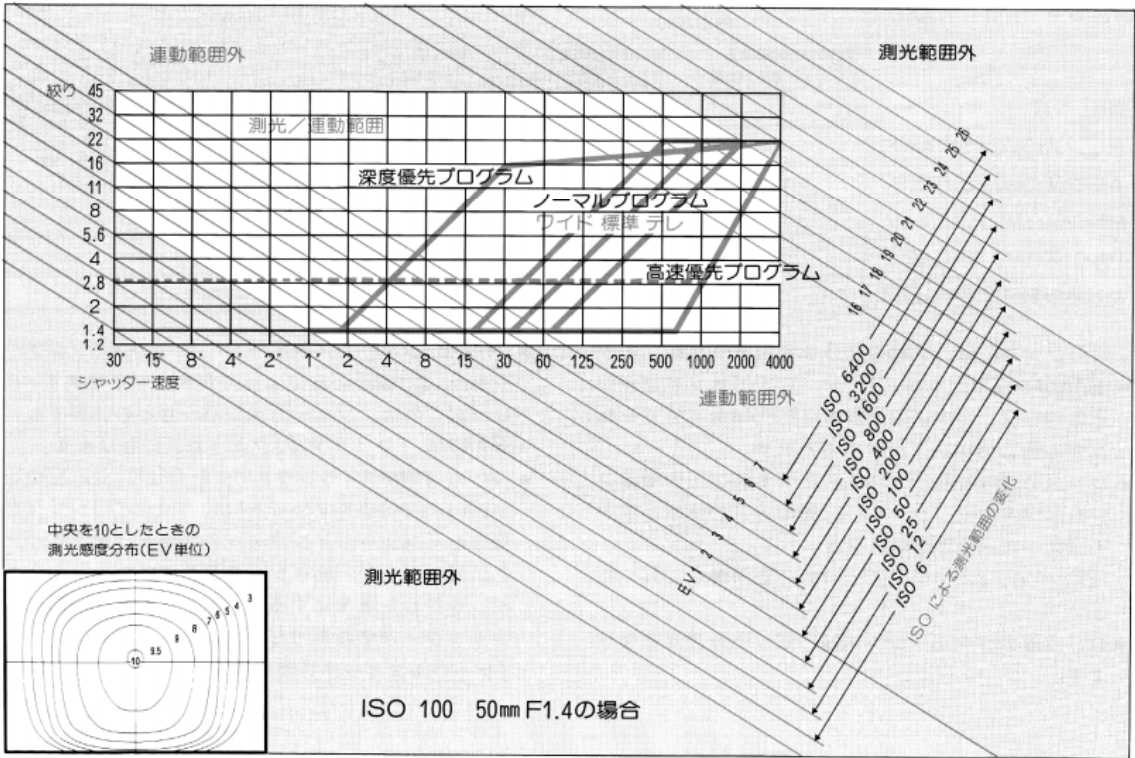
交換レンズ	SFXN 機能	露出方式		ピント合わせ方式		
		プログラム自動露出 シャッター優先自動露出	絞り優先自動露出 マニュアル露出	AF・オートフォーカス (シングル・サーボ)		マニュアルフォーカス
					AFアダプター-1.7X を組み合わせたとき	フォーカス表示使用 マウント部分合わせ
Fレンズ(SMC PENTAX-F)		○	○	○	○	○
Aレンズ(SMC PENTAX-A)		○	○	×	○*	○*
Mレンズ(SMC PENTAX-M)		×	○	×	○*	○*
Pレンズ(SMC PENTAX)		×	○	×	○*	○*
ねじ込み旧タクマーレンズ		×	○	×	×	×

※印のレンズには、下記のような使用制限があります。

- **MANUAL** [マニュアル]フォーカスでピントを合わせる場合は、レンズの開放F値がF5.6を含めてそれ以上の明るいレンズが使用できます。
- レンズの開放F値がF2.8を含めてそれ以上の明るいレンズ「AFアダプター-1.7X」を組み合わせるとオートフォーカス撮影が使えます。
[詳しくは、AFアダプター-1.7Xの説明書をご覧ください。]
- ねじ込み旧タクマーレンズは、絞り込み測光となります。

- **FOCUS** フォーカス表示「F」はフォーカスインジケーションは、表示と音によって合焦を知らせます。Fレンズ以外は、フォーカスレバーがどの位置でも、**MANUAL** [マニュアル]フォーカスになります。
- **AF** の **SINGLE** [シングル] に合わせて、K_A マウント[Aレンズ]やKマウント[M、Pレンズ]レンズを使うと、「スナッピンフォーカス撮影」[被写体が来る位置にあらかじめピントを合わせ、シャッターボタンを押したままにすると、ピントの合った瞬間にシャッターが切れる。]ができます。
[ケーブルスイッチF使用可能]

プログラム線図・測光/連動範囲



プログラム線図

SFX_Nのプログラム自動露出は、ノーマルプログラム・高速優先プログラム・深度優先プログラムの3種類があります。左図のように、太実線はシャッター速度と絞りを組み合わせたときの变化を示しています。なお、使用レンズの開放F値により、そのレンズの明るさ限界まではシャッターと絞りの組み合わせで変化します[F2.8レンズでは、図の赤点線のようになります。]

ノーマルプログラムは、使用レンズの焦点距離によって、ワイド・標準・テレのプログラムを自動的に切り替えます。

高速優先プログラムは、速いシャッター速度が得られるようにプログラムされています。

プログラム線図両端の細い赤実線や細い赤点線は、開放絞り・最小絞りの異なるレンズを使ったとき、またはフィルム感度[ISO]を変えたときのもので

す。レンズの絞り[F1.4～F22]の範囲が変わると、測光範囲の限界が変化します。

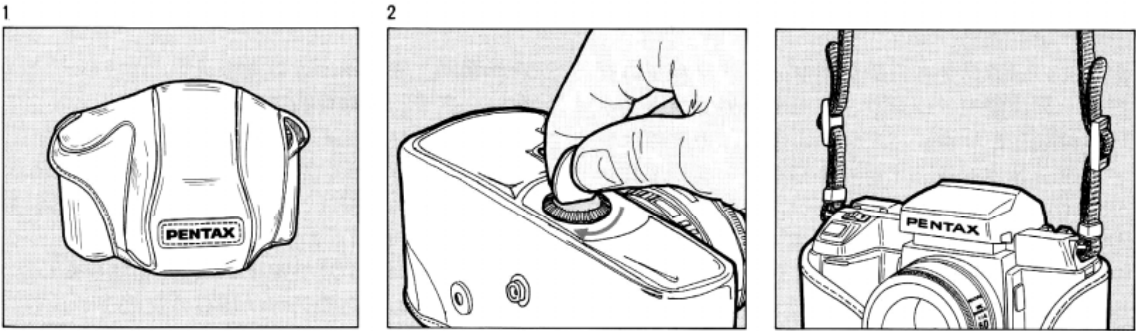
測光範囲とは、露出計の働く明るさの上限～下限をいいます。連動範囲は、測光範囲内でシャッター速度と絞りの組み合わせ可能範囲をいいます。例えば、ISO 100で50mm F1.4標準レンズを使用したときの測光範囲は、EV 1 [F1.4・1秒～EV 20 [F16・1/4000秒]です。

フィルム感度[ISO]が変わると測光範囲が変わります。左図の左右傾斜線がISOの変化に従って平行移動します。枠の中が測光／連動範囲です。

EV [Exposure Value]

EVとは、被写体の明るさを表わす数値で、暗い所は低く、明るい所は高い数字です。

ソフトケース



ソフトケースはバックケース[底ぶた]とフロントケース[前ぶた]で組み合わせられています。

- 1. フロントケースを開いてカメラをバックケースに入れます。
- 2. ケース下部の取り付けネジをコインなどで、締め付けて固定します。

●ソフトケース[別売]には、SFX_N用とSFX_Nクォーツデット用があり、クォーツデット用はカメラをケースに入れたままで、表示の切り替えができます。なお、フロントケースは共用で、標準用SのほかにM・Lの3種類があります。

ケース	適合するFレンズ
S	50mm/F1.4・F1.7、ズーム35～70mmなど
M	ズーム28～80mm、ズーム35～105mmなど
L	マクロ100mm、ズーム70～210mmなど

専用アクセサリ〔別売〕

SFX_Nには、各種専用アクセサリが用意されています。詳しくは、カタログ等をご覧ください。

●ケーブルスイッチF

SFX_N・SFX・SF7用のリリースコード。

●マグニファイヤーF_B

ファインダー中央部を拡大して見る、接写用アクセサリ。

●オートストロボAF240FT、AF400FTZ

AF240FTはガイドナンバー24、AF400FTZはガイドナンバー40のズームストロボ。また、先幕・後幕シンクロ撮影などが可能。

●ホットシューアダプターF、延長コードF5P

AF240FTやAF400FTZをカメラから離しストロボ撮影するときのアダプターとコード。

●AFアダプター1.7X

F2.8より明るい、K_A・Kマウントレンズでオートフォーカス撮影するためのアダプター。

●データバックF_B

日付や時間を写真に写し込むことが可能。
〔SFX_Nは、データバックFも使用可能。〕

●インターバルデータバックF

日付や時間のほかにカウントなどを写し込むこともでき、さらにタイマー撮影などが可能。

●リモートバッテリーバックFセット

寒冷地などの撮影に使用する電池保温用のアクセサリです。〔単3形乾電池を4本使用〕

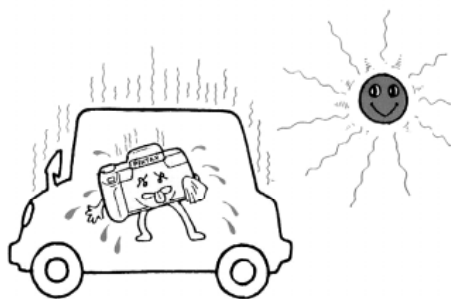
アクセサリの注意

- 「オートベローズA」はダブルリリースが使用できません。また、縦位置撮影のときは、SFX_Nのグリップ側を上にしてください。
- 「645レンズ用アダプターK」を使うときは、アダプターの取り付け位置によっては、固定ネジがSFX_Nに当たる場合がありますので、ご注意ください。
- SFX用の「マグニファイヤーF」は使用できません。SFX_Nには、「マグニファイヤーF_B」をご使用ください。

69

取り扱い上の注意

- カメラは精密機械です。取り扱いには充分ご注意ください。
- 落としたり、固い物にぶつけないようにしてください。もし強いショックや圧力を与えたときは点検を受けてください。
- レンズやファインダー窓のホコリはブローで吹き飛ばし、レンズブラシで取り去ってください。
- 高温多湿の所へ保管したり、長時間放置することは避けてください。特に車の中は高温になることがありますのでご注意ください。



- カメラの使用温度範囲は50℃～-10℃です。
- 寒い外から急に暖かい部屋へ持ち込むと、カメラの内外に水滴を生じます。このようなときは、カメラをバッグやビニール袋に入れて、できるだけ温度変化をゆるやかにし、温度差が少なくなってから、取り出してください。
- 汚れ落としに、シンナーやアルコール・ベンジンなどの溶剤は使用しないでください。
- ゴミや泥・砂・ホコリ・水・有害ガス・塩分などがカメラの中に入ると、故障の原因になりますからご注意ください。保証期間中でも有料修理になる場合があります。雨や水滴などが付いたときは、良く拭いて乾かしてください。

- シャッター幕やミラーには、手を触れないでください。
- 一般に、電気系のトラブルは接点部の汚れやゴミが原因になる場合が多いものです。もし、電気系の不具合と思われる現象が出たときは、電池の接点や各部の接点に電池の液もれや手油などによる汚れ、塩分や特殊ガスなどによる腐食、あるいはゴミなどが付いていないかチェックしてみてください。
- 汚れやゴミを取り除いても不具合の場合は、当社のサービス窓口で点検を受けてください。
- サービスサイズのカラープリントでは画面周辺でフィルムに写っていたものが切られてしまうことがあります。構図を決めるときに少し余裕を残しておくとう安全です。
- 水没品は修理不可能の場合が多くなります。当社のサービス窓口にご相談ください。
- 高性能を保つため、1～2年毎に定期点検をおすすめ致します。長期間使用しなかったときや海外旅行など大切な撮影の前には、点検や試し撮りをされるようにしてください。

LCD[液晶表示]用バックアップ回路

撮影中に電池交換のために電池を抜いたときは、撮影枚数とフィルム感度は記憶回路が働きますから、合わせ直す必要がありません。

LCD[液晶表示]について

- 約60℃の高温では液晶表示が黒くなることがありますが、常温に戻れば正常になります。
- 低温下では、液晶の表示応答速度が遅くなることもあります。これは液晶の性質によるもので故障ではありません。

仕様[SFX_N および SFX_N クォーツデット]

型式	ストロボ内蔵マルチモードTTL AE・AF 35mm一眼レフカメラ
画面サイズ	24×36mm
使用フィルム	35mmフィルム[J135パトローネ入り] 35mmDXフィルム=ISO 25～5000 DXでないフィルム=ISO 6～6400[1/3ステップ]
露出方式	プログラム自動露出[ノーマル「ワイド・標準・テレ」・高速優先・深度優先]、 シャッター優先自動露出、絞り優先自動露出、マニュアル露出
シャッター	電子制御式縦走りフォーカスブレーンシャッター プログラム・絞り優先1/4000秒～30秒、シャッター優先・マニュアル1/4000秒～1秒、 Xシンクロ1/125秒、bulb[バルブ]、電磁リリース、電源スイッチ切り[OFF]でシャッターロック
レンズマウント	ペンタックスK _{AF} マウント[AFカプラー・レンズ情報接点付Kマウント]
使用レンズ	SMCペンタックスFレンズ[SMCペンタックス・A・Mレンズ…従来のK _A ・KマウントレンズのうちF5.6以上の明るいレンズはフォーカス表示による撮影が可能。F2.8以上の明るいレンズはAFアダプター1.7×によりAF可能。]
オートフォーカス機構	TTL位相差検出式 オートフォーカス作動輝度範囲EV2～18[ISO 100] ピント合わせ[AFシングル・AFサーボ・マニュアルの3種類] 合焦速度 最短～約0.3秒[Fズーム35～70mm使用時]低輝度時AFスポットビーム[有効距離1～4m]
ファインダー	ペンタプリズムファインダー アスフェリック・マイクロマットフォーカシングスクリーン[交換式] 視野率 縦・横92% 倍率0.8×[50mm F1.4・∞]視度調節式 +1.5～-2.5D[ディオプトリ]
ファインダー内LED表示	フォーカス表示[FI=フォーカスインジケーション] [O] 合焦表示[緑ランプ表示] [P] 前ピン・後ピン表示[赤ランプ表示] プログラム自動露出=[P] 4000～LT シャッター優先自動露出・絞り優先自動露出=[A] 4000～LT、 マニュアル露出=[M] 4000～LT メモリーロック表示=表示LED点滅、露出補正表示=[±EF] が表示、[S]=ストロボ充電完了表示 手ぶれ警告=30～LT橙色表示、測光連動範囲外=4000またはLTが点滅表示
LCD表示パネル	プログラム自動露出=[P] 表示、ノーマル・テレ [O]・標準 [M]・ワイド [W] 表示 高速優先=[S] 表示 深度優先=[D] 表示 シャッター優先・絞り優先自動露出=[A] 表示、マニュアル露出・125[1/125秒]・bulb[バルブ]=[M] 表示 シャッター速度=4000～30' 表示、バルブ=bulb表示、ISO=6～6400表示 絞りF値=1.2～90表示、露出補正=+4～-4、シャッター・絞り優先マーク=[P] 表示 セルフタイマー撮影=[S] 表示、1コマ撮影=[S] 表示、連続撮影=[S] 表示、オートブラケット撮影=[S] 表示、トリプルセルフタイマー撮影=[S] 表示、 電池消耗=[C] 表示、DXマーク=[DX] 表示 パトローネ・フィルム走行・巻き取りマーク=[O] 表示、フィルム枚数・[セルフタイマー] =0～99表示、LCD照明有り[MLボタン押しにより、約8秒間照明]

セルフタイマー	始動はシャッターボタン、電子式赤ランプ表示、作動時間約12秒〔点滅・音・減算表示〕、作動後解除可能、トリプルセルフタイマー機能により、3コマ連続撮影が可能〔ストロボ使用可能〕
ミラー	スイング上昇式、クイックリターンミラー、オートフォーカス用第2ミラー付
フィルム入れ	オートローディング、裏ぶた閉じにより1枚目まで自動巻き上げ、裏ぶたにフィルム情報窓付
巻き上げ・巻き戻し	内蔵モーターによる自動巻き上げ・巻き戻し式 1コマ撮影 連続撮影〔約2.2コマ/秒〕、フィルム終了時自動停止、巻き戻し時間は24枚撮りフィルムで約20秒、巻き戻し完了時自動停止、フィルム走行・巻き戻し完了をLCD表示
露出計・測光範囲	TTL中央重点測光、受光素子GPD、50mm F1.4 ISO 100 EV1〔F1.4・1秒〕～20〔F16・1/4000秒〕
露出補正	±4EV〔0.5EVごとに表示〕
オートブラケットティング	適正・アンダー・オーバーの3コマ連続段階露出が可能〔±0.3EV～±4EVの範囲〕
メモリーロック	ボタン式〔ボタンを押している間ON〕、表示中シャッターボタンを軽く押すとメモリーロック継続
ストロボ	並列制御TTLストロボ内蔵、ガイドナンバー14〔ISO 100/m〕35ミリレンズをカバー、充電完了表示ランプ付、同調速度1/60秒・1/125秒へ自動切り替え、日中シンクロ・マニュアルで低速シンクロ可能 不適合レンズの場合、充電完了表示が点滅警告〔Fレンズ使用時〕
シンクロ	ホットシュー〔X接点 専用ストロボ接点付〕専用ストロボ連動
電源	6Vリチウムパック電池〔2CR5〕1個〔標準仕様〕 単3形アルカリ乾電池〔LR-6〕4本〔別売り単3バッテリーグリップF _B 使用時〕
電池消耗警告	バッテリーマークおよびファインダー内LED〔点滅警告〕表示、交換可能、〔データバックF _B 、インターバルデーターバックF〕
裏ぶた	
大きさ・重さ	154.5〔幅〕×99〔高〕×63.5〔厚〕mm 665g〔ボディのみ、電池別〕
付属品	ホットシューカバー・SFX、リリースソケットキャップF、アイカップF、カメラストラップF

クォーツデイト（デイト仕様）	
デイト機構	クォーツ制御・液晶表示式・デジタル時計・オートカレンダー〔西暦2019年まで、閏年は自動修正〕
データの写し込み方法	7セグメント6桁LCD〔液晶〕、フィルム背面より写し込み
データ表示	データ表示窓にLCD〔液晶〕表示、表示写し込み時 ― マークが2～3秒間点滅
データの種類	①年・月・日、②日・時・分、③……〔データ写し込み無し〕、④月・日・年、⑤日・月・年 年月日〔年＝87～19〔1987～2019年〕〕、月＝1～12、日＝1～31、時分〔時＝0～23 分＝00～59〕
使用フィルム感度	ISO 25～1600〔感度自動セット〕
データ電源	CR2025型〔リチウム電池〕1個
発光回数	約5000回
大きさ・重さ	154.5〔幅〕×99〔高〕×66.5〔厚〕mm 685g〔ボディのみ、電池別〕

こんなときは？〔詳しくは、各ページをご覧ください〕

修理を依頼される前にもう一度、次の点をお調べください。

症状	原因	処置	参照ページ
シャッターが切れない。	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れてください。	11ページ
	バッテリー警告  が出ている。	電池を交換してください。	7ページ
	フィルムの最後まで撮影が終わっている。	フィルムを取り出してください。	26ページ
	電池が逆に入っている。	電池を正しく入れてください。	6ページ
	フォーカスレバーが SINGLE 〔シングル〕でピントが合っていない。	ファインダーの  表示を確認して撮影してください。	18ページ
	 セルフタイマーや  トリプルセルフタイマーになっている。	 セルフタイマーを解除してください。	52ページ
	フィルムが正しく入っていない。  Q...E 表示が点滅している。	フィルムを正しく入れ直してください。	24ページ
表示パネルに表示が出ない。	電源スイッチが入っていない。	電源スイッチを入れてください。	11ページ
	電池が入っていない。	電池を入れてください。	6ページ
	電池が完全に消耗している。	電池を交換してください。	7ページ
ピントが合わない。	ピントを合わせたい物〔被写体〕に  フォーカスフレームが合っていない。	被写体を  フォーカスフレームに入れて、撮影してください。	18ページ
	被写体に近づき過ぎている。	被写体から離れてください。	18ページ
	ズームレンズが、マクロになっている。	マクロを解除するか、カメラの位置を前後してみてください。	レンズ説明書参照
	フォーカスレバーが MANUAL 〔マニュアル〕になっている。	フォーカスレバーを SINGLE 〔シングル〕か、 SERVO 〔サーボ〕にしてください。	16ページ
	オートフォーカスの苦手な被写体	フォーカスロックを使うか、マツト部分でのピント合わせや内蔵ストロボ〔AFスポットビーム〕などをご利用ください。	20ページ 32ページ 46ページ

症状	原因	処置	参照ページ
ピントが合わない。	ファインダーの視度が合っていないため、像がハッキリ見えない。	視度調整レバーでファインダーの視度を合わせてください。	10ページ
フォーカスロック〔ピント固定〕ができない。	フォーカスレバーが SERVO 〔サーボ〕になっている。	フォーカスレバーを SINGLE 〔シングル〕にしてください。	16ページ 19ページ
内蔵ストロボが光らない。	内蔵ストロボが充電されていない。	充電完了ランプを確認してから撮影してください。	29ページ
	ストロボ光が遮られるフレンズ〔ズーム・望遠・マクロ〕を使用している。	広角35mmから、望遠210mmまでのフレンズをご使用ください。 〔マクロレンズを除く〕	30ページ
内蔵ストロボが充電しない。	電池が消耗している。	電池を交換してください。	6ページ
	シャッターボタンを押したままにしている。	シャッターボタンから指を離してください。	30ページ
ファインダー内の全LED表示が点滅する。	電池が消耗している。	電池を交換してください。	6ページ 64ページ
ファインダー内のシャッター速度〔数字〕が点滅する。	自動露出撮影での連動範囲外・測光範囲外または、マニュアル露出撮影での適正露出外るとき。 〔そのまま撮影すると、適正露出は得られません〕	自動露出の連動範囲外やマニュアル露出のときは、シャッター速度や絞りを調節してください。 測光範囲外の場合は、NDフィルターやストロボなどで光量調節をしてください。	37ページ 39ページ 41ページ 64ページ
オートブラケット撮影にできない。	露出方式が M マニュアル露出や 125 〔1/125秒〕または bulb パルプになっている。	露出方式を P プログラム自動露出や A シャッター優先・絞り優先自動露出にしてください。	34ページ 35ページ 49ページ
bulb パルプにできない。	⑤ セルフタイマーや ⑥ トリプルセルフタイマー、⑦ オートブラケット撮影になっている。	■ 1コマ撮影または ⑧ 連続撮影にしてください。	43ページ

75

お問い合わせは次の各サービス窓口へ



■ 営業時間：●ペンタックスフォーラム(新宿)

午前10時30分～午後6時30分
(原則として年末年始を除き年中無休)

- ペンタックスフォーラム・大阪
午前10時～午後6時(日・祝日休業)
- 各サービスセンター
午前9時～午後5時(土・日・祝日休業)
- ペンタックスギャラリー
午前10時～午後5時(日・祝日休業)



ペンタックスフォーラム

(ショールーム・写真展・修理受付)

☎03(3348)2941(代)

〒163

東京都新宿区西新宿2丁目1番1号
新宿三井ビル1階(私書箱240号)



東京サービスセンター

☎03(3571)5621(代)

消費者相談室

☎03(3572)6479

〒104

東京都中央区銀座西8丁目10番地



札幌サービスセンター

☎011(241)8742(代)

〒060

札幌市中央区

大通西8丁目1番地1号

朝日生命札幌大通ビル4階



仙台サービスセンター

☎022(261)5681(代)

〒980

仙台市青葉区中央2丁目2番10号

仙都会館4階



新潟サービスセンター

☎025(224)8391(代)

〒951

新潟市本町通七番町1153番地

日本信販新潟ビル4階



横浜サービスセンター
 ☎045(681)8771代
 〒231
 横浜市中区不老町1丁目6番9号
 横浜エクセレントVビル3階



大阪サービスセンター
 ☎06(271)7996代 (修理受付)
 〒542
 大阪市中央区南船場1丁目17番9号
 ベンタックスフォーラム・大阪
 (ショールーム・写真展)
 ☎06(271)3960



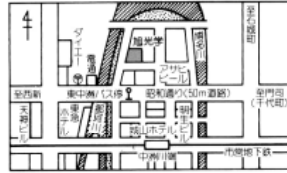
静岡サービスセンター
 ☎054(255)6308代
 〒420
 静岡市伝馬町24番2号
 住友建設ビル5階



広島サービスセンター
 ☎082(248)4321代
 〒730
 広島市中区大手町3丁目7番2号
 大東京火災広島ビル8階



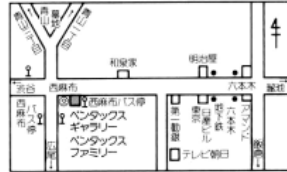
名古屋サービスセンター
 ☎052(962)5331代
 〒461
 名古屋市中区栄1丁目19番8号



福岡サービスセンター
 ☎092(281)6868代
 〒810
 福岡市博多区中洲中島町3番8号

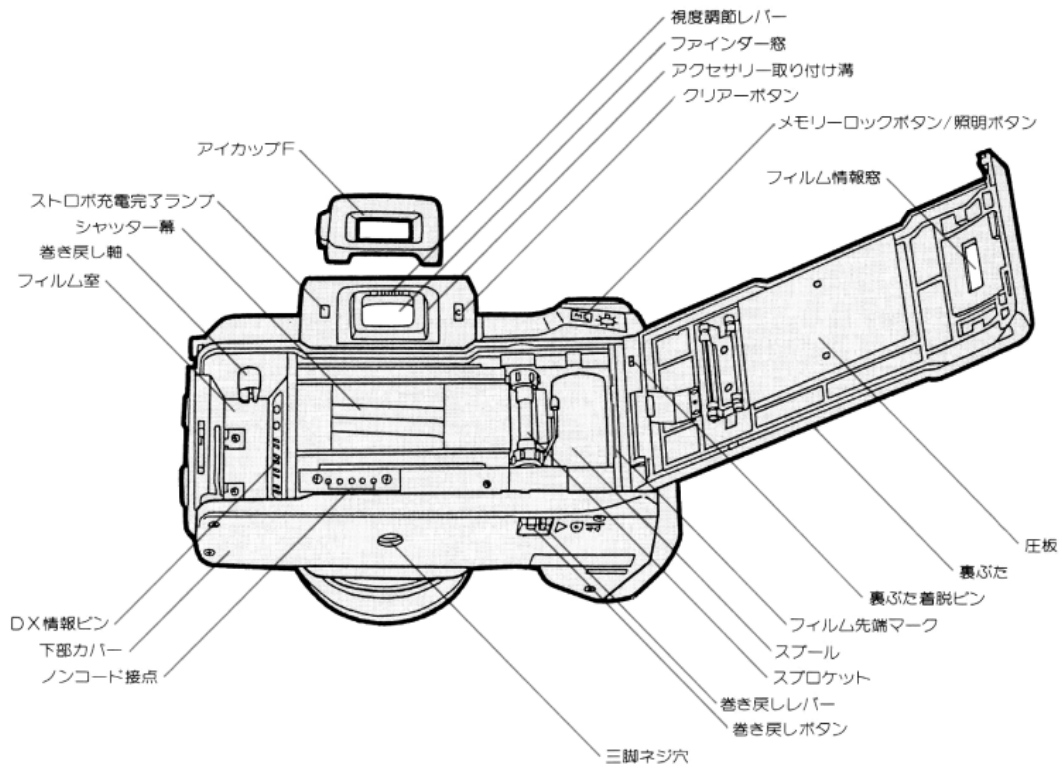


金沢サービスセンター
 ☎076(22)0501代
 〒920
 金沢市尾張町2丁目8番23号
 太陽生命ビル6階



ペンタックスギャラリー
 (カメラ博物館)
 ☎03(3401)2186
 ファミリー (写真クラブ)
 ☎03(3401)2187
 〒106
 東京都港区西麻布3丁目21番20号

各部の名称【クォーツデパートの名称は60ページをご覧ください。】



- 旭光学のサービス窓口では、ペンタックスカメラをはじめ、各種交換レンズやアクセサリが展示され、手にとってご覧になれます。また、種々のご相談にも応じておりますので、お気軽にお立ち寄りください。
 - 他社製品〔レンズ、アクセサリ等〕との組み合わせ使用に起因する故障については有料となります。
1. 修理をお急ぎの場合は、当社のサービス窓口
に直接お持ちください。郵送の場合は、カメ
ラの化粧箱などを利用して、輸送中の衝撃に
耐えるようしっかり包装し、書留小包便でお
送りください。なお、不良見本のフィルムや
プリント、また、故障内容は正確にメモして
添付していただくと原因分析に役立ちます。
 2. 保証期間中〔ご購入後 1 年間〕は保証書〔販売
店印、および購入年月日が記入されているも
の〕をご提示ください。保証書がないと、保証
期間中でも修理が有料になります。なお、販
売店または当社サービス窓口へお届けいた
だく諸費用は、お客様にご負担願います。
 3. 保証期間以後の修理は原則として有料です。
なお運賃諸掛りはお客様にご負担願います。
 4. 本製品の補修用性能部品は、製造打切り後、
10年間を目安に保有しております。したがっ
て本期間中は原則として修理をお受け致しま
す。なお、期間以後であっても、修理可能の
場合もありますから、当社の各サービス窓口
にお問い合わせください。
 5. 外国旅行をされる場合、各サービス窓口では
お手持ちの保証書と交換に、国際保証書を発
行致します。〔保証期間中のみ有効〕なお、
特定の旅行先でのサービス窓口の住所につい
ては、お問い合わせください。



旭光学工業株式会社

〒174 東京都板橋区前野町 2 丁目 36 番 9 号

旭光学商事株式会社

〒100 東京都千代田区永田町 1 丁目 11 番 1 号